

2013年7月号 小島薬局漢方堂

パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます!!

今月の一言

平素は小島薬局をご愛顧いただき、ありがとうございます。

7月は高温多湿の影響で、身体に水分がたまりやすい時期です。体にたまった水分は、消化機能や皮膚、筋肉に影響を及ぼし、食欲不振・消化不良・湿疹の悪化、神経痛などがおきやすくなります。免疫力を高めて胃腸を丈夫にする「麦味参」「西洋人参」「星火健脾散」、湿疹の悪化を予防する「五行草茶」、神経痛を改善する「イーパオ」「独歩顆粒」などを服用して体調を整えましょう。

★7月は紫外線に要注意です!

紫外線という一番暑い8月をイメージすると思います。

ご存知の方もいるかも知れませんが、紫外線は真夏の8月ではなく、6月～7月にピークを迎えます。紫外線は4月から9月の半年間で、年間の紫外線総量の8割近くが降り注ぎます。10月～3月では残り2、3割となります。

さて、私たちが普段浴びている紫外線の約9割はUVAでございます。波長が長いので雲や窓ガラスも通り抜けてしまいます。このUVAは肌の真皮にまで到達し、肌のハリ、弾力に大切なコラーゲン腺維・エラスチン腺維を切断させ、シワやたるみ(光老化)の原因になってしまいます。また皮膚の細胞を遺伝子レベルで傷つけるほか、皮膚の免疫力も低下させます。

さらに最近の研究では、シミと動脈硬化に関係があることが発表されました。出張元気パンダの漢方日記に詳しく書いていますので、ぜひお読みください。



潤いと元気を作る 松寿仙!!



夏に注意が必要な病気としてまず浮かぶのが「熱中症」ですが、「熱中症」以外にも注意が必要な病気として脳や心臓の血管が詰まる「脳梗塞」や「心筋梗塞」が心配されます

原因として気温が上がるこれからの季節は、発汗により水分が消費され血液の粘度が上昇する事で血栓ができてしまい、脳梗塞や心筋梗塞の発症につながりやすくなるためです。

夏場は最も注意が必要になる時期で、最近屋外で活動する人やスポーツなどでよく汗をかく若い人にも多く見られ、年齢に関係なく対策が必要になってきます!!

そんな夏場に大好評なのが松寿仙での水分補給です。

松寿仙は末梢の細い血管を速やかに拡げて血液の流れを良くしてくれるので、脳梗塞の予防には最適です。

その上松寿仙は血液粘度の上昇を抑制してくれますので、心筋梗塞の予防にピッタリです。

松寿仙は
体に必要な水分を補いながら
栄養とエネルギー補給の役割を果たし、
夏を瑞々しく元気に乗り切るための
最高の医薬品です。



《体験談》69才女性

松寿仙はかれこれ20年以上続けています。神経性胃炎で飲み始めたのですが、1年くらい経つと食事も美味しくなってきた松寿仙の効果を実感できたのが嬉しかったです。元気に旅行したり、スポーツ教室に通っても疲れる事なく快適な毎日です。